

**簡単操作で自撮りと SNS 共有ができる “EOS M200” を発売
小型・軽量ボディで約 2410 万画素の高画質と 4K 動画の撮影を実現**

キヤノンは、気軽に持ち運べて、簡単な操作で美しいボケ味のある写真や本格的な動画撮影を楽しむことができるミラーレスカメラ “EOS M200” を 2019 年 10 月 18 日に発売します。



EOS M200 (ホワイト)

*EF-M15-45mm F3.5-6.3 IS STM (シルバー) 装着時



EOS M200 (ブラック)

*EF-M15-45mm F3.5-6.3 IS STM (グラフィート) 装着時

“EOS M200” は、「EOS M100」(2017 年 10 月発売) の後継機種で、有効画素数約 2410 万画素^{※1}の APS-C サイズ CMOS センサーと映像エンジン DIGIC 8 を搭載し、高画質な写真や動画を撮影、共有したい SNS ユーザーやスマホユーザーのステップアップ機として適しています。

■ 小型・軽量ボディで直感的な操作に対応

約 108.2mm (幅) × 約 67.1mm (高さ) × 約 35.1mm (奥行き)、質量約 299g^{※2} の小型・軽量ボディを実現しています。また、撮影モードの効果が写真やイラストで表示される「ビジュアルガイド」を搭載し、初心者でも簡単に撮影ができます。上方向に約 180° 回転するチルト式液晶モニターを採用により、自分の姿をリアルタイムで確認しながら、背景のぼかし具合や美肌効果などを調整して撮影できます。さらに、撮影開始までの秒数が液晶モニターに表示される「動画セルフタイマー」に加え、液晶モニターへのタッチ操作のみで動画撮影が可能なアイコン表示などにより、自撮り動画も簡単に撮影できます。

■ 撮影した写真を簡単に SNS にシェアできる Wi-Fi/Bluetooth[®] に対応^{※3}

Wi-Fi や Bluetooth を介して、スマホなどによるリモート撮影ができ、集合写真などのさまざまな撮影シーンに対応できます。また、撮影後の写真や動画をワイヤレスでスマホやタブレット端末に送信、保存し、SNS へ手軽にシェアできます。

■ 高精細な 4K 動画撮影とスマホなどでの縦位置動画の再生を実現

フル HD の約 4 倍の解像度である 4K/24p の高精細な動画撮影^{※4} を実現しています。また、カメラを縦位置で撮影した動画を自動的に縦位置再生ができる「縦位置情報の付加」機能に EOS シリーズとして初めて対応しています。これにより、縦位置へ回転処理をすることなく、スマホやタブレット端末の画面全体で縦位置動画を楽しめます^{※5}。

製品名	希望小売価格	発売日
EOS M200	オープン価格	2019 年 10 月 18 日

※1 総画素数約 2580 万画素。

※2 質量はバッテリーおよびカードを含む。CIPA 規格に準拠。

※3 Bluetooth Low Energy 技術に対応。以降の表記においては Bluetooth と記載。動作条件は、2 頁 2 の※1 に記載。

※4 4K (23.98 fps/25.00 fps) はクロップ撮影。4K 動画撮影時のフォーカス方式はコントラスト AF。

※5 縦位置情報がつかない動画モード (プラスムービーオートモード、ビデオスナップ) もあります。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター

050-555-90002

● EOS ホームページ

: canon.jp/eos

<主な特長>

1. 小型・軽量ボディで直感的な操作に対応

- ・約 108.2mm（幅）×約 67.1mm（高さ）×約 35.1mm（奥行き）、質量約 299g の小型・軽量ボディを実現。カバンに入れてもかさばらず、手軽に持ち運び、撮影することが可能。
- ・ホワイトとブラックの 2 色のボディと新色のピンクのフェイスジャケット（別売り）を用意。ボディにフェイスジャケットを組み合わせることで、ファッションに馴染み、自分好みの外観のコーディネートを楽しむことが可能。
- ・カメラ初心者にも分かりやすく親しみやすい配色とデザインの「ビジュアルガイド」を搭載。撮影モードの効果を簡単な説明や写真、イラストにより分かりやすく表示して撮影をサポート。
- ・タッチパネルによる直感的な操作によって背景ボケや明るさといった撮影効果の設定が可能。「クリエイティブアシスト」を搭載。オートモードから簡単に起動でき、RAW/C-Raw 形式で撮影したデータは、撮影後でも再生モードから編集可能。
- ・撮影開始までの秒数が液晶モニターに表示される「動画セルフタイマー」を搭載。また、動画モード時に動画撮影アイコンが液晶モニター上に表示され、自撮り動画も簡単に撮影可能。
- ・約 180° 回転するチルト式液晶モニターの採用により、自分の姿をリアルタイムで確認しながら、背景のぼかし具合や美肌効果などを調整して撮影可能。



手軽に持ち運べる「EOS M200」



「ビジュアルガイド」の使用イメージ

2. 撮影した写真を簡単に SNS にシェアできる Wi-Fi / Bluetooth®に対応※1

- ・スマホなどの携帯端末への接続手段として、Wi-Fi/Bluetooth 接続に対応。初回にペアリング設定をすることで、カメラとスマホを自動的に Bluetooth で接続することが可能。また、画像送信時は、Bluetooth から Wi-Fi へ自動的に切り替わるため、カメラ側での手動の Wi-Fi 接続操作が不要となり、簡単に写真や動画を送信。
- ・スマホを使用してリモートライブビュー撮影が可能※1。カメラを遠隔操作することで、全身を写した集合写真などのさまざまな撮影シーンに対応。Wi-Fi に接続されているスマホに撮影と同時に画像を自動送信できる「撮影時画像自動送信」を搭載※1。
- ・撮影後の写真や動画をワイヤレスでスマホやタブレット端末に送信して保存したり、SNS などを通じて手軽にシェア可能。
- ・「クリエイティブアシスト」を使用することで、RAW/C-Raw で撮影したカメラ内の画像をスマホなどから色加工や JPEG 変換して送信することが可能※1。
- ・キヤノン製の iPad 用画像編集アプリケーション「Digital Photo Professional Express※2」を使用することで、色やディテールの調整など RAW 現像による作品づくりを楽しむことが可能。
- ・“EOS M200”の発表と同日に公開する撮影コミュニティサービス「fotomoti (フォトモチ)」において、“EOS M200”で楽しめる撮り方 (フォトレシピ) を閲覧可能。(https://fotomoti.canon)

※1 Bluetooth Low Energy 技術に対応。以降の表記においては Bluetooth と記載。Bluetooth 機能の動作条件は、接続機器が iOS/Android :Bluetooth 4.0 以上を搭載するデバイスです。ただし、上記の動作条件を満たす機器であっても、機種によっては、Bluetooth 接続ができない場合があります。Bluetooth 接続ができない場合、一部の位置情報付与の機能が使用できません。また、カメラと携帯端末の Wi-Fi や Bluetooth での接続には、キヤノン専用アプリケーション「Camera Connect」のインストールが必要。Bluetooth 接続ができない場合でも、機器と Wi-Fi 接続による画像の送信、リモート操作は可能です。なお、Bluetooth 接続には、事前にカメラと携帯端末をペアリングさせておく必要があります。

※2 2019 年 10 月公開済のバージョン 1.2 から有償となります。

3. 高精細な 4K 動画撮影とスマホなどでの縦位置動画の再生を実現

- ・フル HD の約 4 倍の解像度である 4K/24p の高精細な動画撮影を実現。
- ・一定間隔で撮影した静止画を自動でつなぎ合わせ、長時間の変化をコマ送りのような動画で短時間にまとめる「4K タイムラプス動画」を搭載し、人の流れや景色の変化などを短時間の動画にすることが可能。フル HD にも対応。
- ・カメラを縦位置で撮影した動画を自動的に縦位置再生ができる「縦位置情報の付加」機能に EOS シリーズとして初めて対応。スマホやタブレット端末の画面全体で縦位置動画を楽しむことができるほか、Instagram や YouTube 等の SNS へ簡単に縦動画投稿が可能。

4. 約 2410 万画素 CMOS センサーと映像エンジン DIGIC 8 による高画質と高精度 AF

- ・有効画素数約 2410 万画素の APS-C サイズ CMOS センサーと映像エンジン DIGIC 8 の組み合わせにより、美しいボケ味や豊かな階調を表現することが可能。
- ・静止画撮影時に、最高 ISO25600 の常用 ISO 感度（拡張 ISO：51200 相当）を実現。室内や夜景などの暗いシーンでも高画質な撮影が可能。
- ・各画素が撮像と位相差 AF の両方の機能を兼ねる「デュアルピクセル CMOS AF」を搭載。対応する交換レンズ^{※1}装着時は、撮像面の約 100%（縦）×約 88%（横）で最大 143 分割の AF エリアで高速・高精度な合焦が可能。
- ・被写体の瞳を検知してフォーカスを合わせる「瞳 AF」が、サーボ AF/動画サーボ AF 時においても設定が可能^{※2}。
- ・EOS M シリーズ専用の小型・軽量交換レンズ「EF-M レンズ」7 本のラインアップで、マクロ・広角・望遠などの多彩な撮影表現が可能。また、「マウントアダプター EF-EOS M」（別売り）を装着することで、計 60 種類以上の豊富な「EOS」シリーズ用交換レンズ「EF レンズ」、「EF-S レンズ」が使用でき^{※3}、幅広い撮影表現を実現。

※1 詳細はキヤノン公式ホームページをご参照ください。

※2 「顔+追尾優先 AF」時に機能。ワンショット AF、サーボ AF、動画サーボ AF で使用可能。初期設定では、カメラに近い方の目を自動選択します。同程度の距離の場合には、画像中央に近い方の瞳が自動選択されます。手動で任意の瞳を選択することも可能。

※3 CN-E レンズ（EF シネマレンズ）を除く。EF-M レンズはマウントアダプター装着不要。

<アクセサリ（別売り）>

■ “フェイスジャケット EH-31FJ”（EOS M100、EOS M200 専用）

製品名	希望小売価格（税別）	発売日
フェイスジャケット EH-31FJ（ピンク）	4,500 円	2019 年 10 月 18 日



“フェイスジャケット EH-31FJ（ピンク）”
“EOS M 200” 装着時



“フェイスジャケット EH-31FJ（ピンク）”

<商品構成（キット内容）>

名称	内容
EOS M200・ボディー	EOS M200（ホワイト・ブラック）
EOS M200・レンズキット※	EOS M200 EF-M15-45mm F3.5-6.3 IS STM
EOS M200・ダブルレンズキット※	EOS M200 EF-M15-45mm F3.5-6.3 IS STM EF-M22mm F2 STM
EOS M200・ダブルズームキット※	EOS M200 EF-M15-45mm F3.5-6.3 IS STM EF-M55-200mm F4.5-6.3 IS STM

※ レンズキットのボディーとレンズの色の組み合わせは、ボディーがブラックの場合、レンズはグラファイトとなります。
ボディーがホワイトの場合、レンズはシルバーとなります。

<レンズ交換式カメラの市場動向>

2018年の世界のカメラ市場におけるレンズ交換式カメラの販売台数は、約1,030万台となりました。
2019年は、約860万台を見込んでいます。（キヤノン調べ）

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

- * Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA™、WPA2™および Wi-Fi Protected Setup™は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- * Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- * その他、記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または、登録商標です。